

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 平成25年8月9日

【四半期会計期間】 第67期第3四半期(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

【会社名】 I M V 株式会社

【英訳名】 I M V C O R P O R A T I O N

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 岡本二郎

【本店の所在の場所】 大阪市西淀川区竹島二丁目6番10号

【電話番号】 06-6478-2565(代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員経営企画本部長 白星政和

【最寄りの連絡場所】 大阪市西淀川区竹島二丁目6番10号

【電話番号】 06-6478-2565(代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員経営企画本部長 白星政和

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)
I M V 株式会社東京営業所
(東京都港区浜松町二丁目1番5号 クレトイシビル4階)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第66期 第3四半期 連結累計期間	第67期 第3四半期 連結累計期間	第66期
会計期間		自 平成23年10月1日 至 平成24年6月30日	自 平成24年10月1日 至 平成25年6月30日	自 平成23年10月1日 至 平成24年9月30日
売上高	(千円)	4,337,226	4,759,481	5,900,074
経常利益	(千円)	664,268	758,294	658,764
四半期(当期)純利益	(千円)	390,637	493,991	360,490
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	397,369	512,063	366,065
純資産額	(千円)	2,733,541	3,132,302	2,702,237
総資産額	(千円)	7,868,337	8,126,554	7,537,350
1株当たり四半期(当期)純利益金額	(円)	23.90	30.22	22.05
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)			
自己資本比率	(%)	34.7	38.5	35.9

回次		第66期 第3四半期 連結会計期間	第67期 第3四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	1.26	1.89

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社の異動は、以下のとおりであります。

(振動シミュレーションシステム)

第2四半期連結会計期間においてIMV EUROPE LIMITEDを新規設立したことにより、連結子会社が増加いたしました。この結果、平成25年6月30日現在では、当社グループは、当社及び子会社4社により構成されることとなりました。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間における、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在しておりません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ(当社及び連結子会社)が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、昨年末の政権交代以降、政府による経済政策や日銀による金融政策などを背景に円安・株高が進行し、輸出企業を中心とした企業収益拡大や景気回復への期待感が急速に高まりました。しかしながら、雇用・所得環境は依然として改善されず、先行き不透明な状況が続いております。

このような環境の中、当社グループは、ヨーロッパ市場(特にドイツ及びイギリス)における振動シミュレーションシステムの販売・マーケティング活動を強化するため、2月にイギリス現地法人IMV EUROPE LIMITEDを設立いたしました。また、中国及びその周辺地域における当社関連製品の現地での情報収集・各種マーケティングを図ることを目的として、上海市に上海代表所(駐在員事務所)を5月に開設いたしました。

業績面につきましては、振動シミュレーションシステム及びテスト&ソリューションサービスにおいて、自動車関連業界を中心に順調に売上が推移しており、前年同四半期を上回る売上高となりました。

以上の結果、当社グループの売上高は4,759百万円となり、前年同四半期と比べ422百万円の増収(対前年同四半期比9.7%増)となりました。利益面では、増収効果により経常利益は758百万円となり前年同四半期と比べ94百万円の増益(対前年同四半期比14.2%増)、四半期純利益は493百万円となり前年同四半期と比べ103百万円の増益(対前年同四半期比26.5%増)となりました。

品目別の営業の概況は次のとおりであります。

振動シミュレーションシステム

振動シミュレーションシステムの分野におきましては、自動車関連業界を中心に複合環境シミュレーションシステムの売上が好調であり、「エコシェーカー」(省エネ型振動シミュレーションシステム)の売上も前年同様に順調に推移しております。また、韓国・ロシア向けの振動シミュレーションシステムの売上が増加したことにより、前年同四半期を上回る結果となりました。

以上の結果、この品目の売上高は3,253百万円となり前年同四半期と比べ483百万円の増収(対前年同四半期比17.4%増)となりました。

メジャリングシステム

メジャリングシステムの分野におきましては、無線型振動計測器「カードパイプロAir 2」を発売しました。また、地震監視装置の海外販売地域の拡大に向けた活動を行いました。震災後に増加した火力発電所等への振動監視装置の納品が一巡し、大型案件が減少したため、売上高につきましては前年同四半期から減少いたしました。

以上の結果、この品目の売上高は700百万円となり前年同四半期と比べ92百万円の減収(対前年同四半期比11.6%減)となりました。

テスト&ソリューションサービス

テスト&ソリューションサービスの分野におきましては、自動車関連業界及び建機関連業界を中心とした受託試験の増加、並びに大阪テストラボ内に設置している鉄道車両用機器向けの試験も堅調に推移しました。また、名古屋テストラボにおいても受託試験が増加いたしました。

以上の結果、この事業の売上高は805百万円となり前年同四半期と比べ31百万円の増収(対前年同四半期比4.0%増)となりました。

(2) 財政状態の分析

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産は前連結会計年度末と比べ589百万円増加し、8,126百万円となりました。流動資産は、前連結会計年度末と比べ617百万円増加し、5,137百万円となりました。この主な要因は、製品の減少103百万円があったものの、現金及び預金の増加221百万円、受取手形及び売掛金の増加145百万円、仕掛品の増加169百万円及び原材料の増加156百万円があったことによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末と比べ28百万円減少し、2,989百万円となりました。この主な要因は、投資有価証券の増加14百万円があったものの、減価償却費等による有形固定資産の減少49百万円があったことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は前連結会計年度末と比べ159百万円増加し、4,994百万円となりました。流動負債は、前連結会計年度末と比べ124百万円増加し、4,297百万円となりました。この主な要因は支払手形及び買掛金の減少172百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少114百万円、未払金の減少107百万円及び未払法人税等の減少106百万円があったものの、短期借入金の増加480百万円及び未払費用の増加17百万円があったことによるものであります。固定負債は、前連結会計年度末と比べ34百万円増加し、697百万円となりました。この主な要因は長期借入金の増加51百万円によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は前連結会計年度末と比べ430百万円増加し、3,132百万円となりました。この主な要因は利益剰余金の増加412百万円によるものであります。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末と比べ2.6ポイント増加し38.5%となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は194百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	67,820,000
計	67,820,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年8月9日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	16,957,016	16,957,016	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 1,000株
計	16,957,016	16,957,016		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年6月30日		16,957,016		464,817		557,563

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成25年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式数) 普通株式 611,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 16,320,000	16,320	
単元未満株式	普通株式 26,016		一単元(1,000株)未満の株式
発行済株式総数	16,957,016		
総株主の議決権		16,320	

(注) 「単元未満株式」の欄には、当社所有の自己株式953株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%)
(自己保有株式) I M V 株式会社	大阪市西淀川区竹島二丁目6番10号	611,000		611,000	3.60
計		611,000		611,000	3.60

(注) 上記株式数には、単元未満株式953株を含めておりません。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成24年10月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,117,409	1,339,181
受取手形及び売掛金	1 2,005,300	1 2,150,961
製品	195,245	91,910
仕掛品	747,798	917,077
原材料	257,006	413,699
繰延税金資産	137,134	145,524
その他	61,304	80,405
貸倒引当金	1,399	1,499
流動資産合計	4,519,798	5,137,261
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	972,464	946,608
土地	1,526,802	1,526,802
その他	375,144	351,693
有形固定資産合計	2,874,410	2,825,104
無形固定資産	22,996	26,766
投資その他の資産	120,144	137,420
固定資産合計	3,017,552	2,989,292
資産合計	7,537,350	8,126,554
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1 1,370,623	1 1,197,775
短期借入金	1,530,000	2,010,000
1年内返済予定の長期借入金	444,687	330,010
未払金	212,864	105,188
未払費用	220,905	238,055
未払法人税等	245,956	139,736
製品保証引当金	61,000	60,000
その他	86,735	216,462
流動負債合計	4,172,772	4,297,227
固定負債		
長期借入金	353,142	404,294
繰延税金負債	43,087	29,873
長期未払金	209,700	194,859
資産除去債務	35,997	37,495
その他	20,413	30,501
固定負債合計	662,341	697,024
負債合計	4,835,113	4,994,251

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	464,817	464,817
資本剰余金	557,563	557,563
利益剰余金	1,783,717	2,195,983
自己株式	109,327	109,601
株主資本合計	2,696,770	3,108,762
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,601	17,304
為替換算調整勘定	1,134	6,234
その他の包括利益累計額合計	5,467	23,539
純資産合計	2,702,237	3,132,302
負債純資産合計	7,537,350	8,126,554

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)
売上高	4,337,226	4,759,481
売上原価	2,663,727	2,962,086
売上総利益	1,673,498	1,797,394
販売費及び一般管理費	995,265	1,114,019
営業利益	678,233	683,375
営業外収益		
受取利息	193	300
受取配当金	700	992
為替差益	-	62,295
受取賃貸料	925	13,773
セミナー収入	4,991	4,011
雑収入	11,794	16,357
営業外収益合計	18,605	97,731
営業外費用		
支払利息	15,068	11,590
有価証券売却損	334	-
賃貸収入原価	408	2,248
セミナー費用	4,505	4,712
雑損失	12,253	4,261
営業外費用合計	32,570	22,812
経常利益	664,268	758,294
特別損失		
投資有価証券評価損	2,202	-
固定資産除却損	154	1,847
特別損失合計	2,356	1,847
税金等調整前四半期純利益	661,911	756,447
法人税、住民税及び事業税	289,319	283,639
法人税等調整額	18,045	21,183
法人税等合計	271,273	262,455
少数株主損益調整前四半期純利益	390,637	493,991
四半期純利益	390,637	493,991

【四半期連結包括利益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	390,637	493,991
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,257	10,702
為替換算調整勘定	1,525	7,369
その他の包括利益合計	6,732	18,072
四半期包括利益	397,369	512,063
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	397,369	512,063
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【継続企業の前提に関する事項】

該当事項はありません。

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年6月30日)	
(1) 連結の範囲の重要な変更	第2四半期連結会計期間より、新たに設立したIMV EUROPE LIMITEDを連結の範囲に含めております。

【会計方針の変更等】

当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年6月30日)	
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)	当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年10月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。
	これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ7,348千円増加しております。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

- 1 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。
 なお、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
受取手形	182,208千円	55,475千円
支払手形	143,030千円	144,122千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年6月30日)
減価償却費	128,035千円	188,881千円
のれんの償却額	2,725千円	2,725千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成23年10月1日 至 平成24年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年12月22日 定時株主総会	普通株式	65,380	4.00	平成23年9月30日	平成23年12月26日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年10月1日 至 平成25年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年12月21日 定時株主総会	普通株式	81,725	5.00	平成24年9月30日	平成24年12月25日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社及び連結子会社の事業は振動に関するシミュレーションシステム及びメジャリングシステムの製造・販売並びに振動試験の受託であり、その事業全てが振動に関する単一事業であるため、セグメント情報は記載しておりません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	23円90銭	30円22銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	390,637	493,991
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	390,637	493,991
普通株式の期中平均株式数(株)	16,345,063	16,344,943

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年8月7日

I M V 株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士 井 上 嘉 之

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士 西 方 実

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているI M V株式会社の平成24年10月1日から平成25年9月30日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成24年10月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、I M V株式会社及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以 上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。